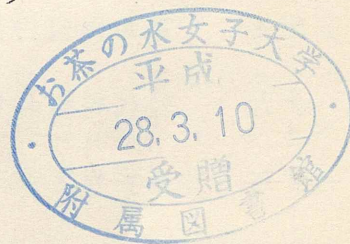


一般教育総合コース

現代における自由と進歩

Bコース

(その一)



昭和 35 年度

お茶の水女子大学

## 「現代における自由と進歩」 目次

### プロローグ 学習上の手引

オ一	象徴表現と現代詩	鍋島
オ二	心理学から見た自由と進歩	波多野
オ三	社会心理学から見た自由と進歩	波多野
オ四	哲学的世観より見たる自由と進歩	藤田
オ五	芸術の自由について	谷田
オ六	現代物質科学の諸問題	菅井
オ七	生物学と現代の社会思想	八杉
オ八	精神医学の発達と現代の人間観	平井
オ九	現代における科学・技術・社会	菅井

## プロローグ

-1-

## 学習上の手引

### 1. 一般教育と総合コース

一般教育の目的は、将来専門科学の学修に進むべき諸君の系統的知識の把握、事実と理論の関連の解明、思考力と鑑賞力の涵養、社会的判断力の養成に資し、将来各自の専門分野を超えた市民としての責任を果たす能力を育成せしめるにある。

そのためには、教授も学生も共に一般教育の課題と方法について十分な考慮を払わなければならない。人文、社会、自然科学の三系列に岐れ、さらに各系列毎に専門分化が行われている現在の一般教育は、諸君が自己の専門とすべき科目以外のものを学修するという硬益があり、また将来の専門学科の基礎学として役立つ効果がある。しかしその間、総合性が欠如している憾があって一般教育の目的に十分とっているとは言い難い。そこで31年度から、ここに一案として、人文・社会及び自然科学にわたる一般教育「総合コース」を試みようとする。

一般教育の目的に鑑み、その総合性を確保しうる課題としては、人類の形成した偉大な文明、例えば、ギリシャ・ローマ文明、近代文明及び現代世観、東西文明の比較、現代社会における人間の諸問題等が考えられる。31年度は、最初の試みとして「ギリシャ・ローマ文明」を取り上げた。32年度は「近代社会と人間」、33年度は「現代社会の動向と人間関係」、34年度は、コースをA、Bに分け、「現代における自由と進歩」を課題とした。

35年度はAコースにおいて「東と西」、Bコースにおいて前年度に引きつづき「現代における自由と進歩」を課題とする。

## 2 総合コースの内容と方法

この総合コースは、わが国での唯一の試みであり、かつ単位時間の制約もあるので、エキスペリメントの域を脱し得ない。しかし事情の許す限り、課題の分担について総合性を発揮し得るよう考慮した。時間にはAコース計60時間（毎週1回2時間）、Bコース計60時間（毎週1回2時間）を適当に配当し、教材、参考書及び視聴覚資料等についても極力諸君の便宜を企りたい考えである。

なお、適当の時期に、諸君の共同研究のためのセミナーを開きたい。ごきりだけ自主的にかつ共同的に学修研究をすすめるようにしたい。

### (備考)

なお、本年度は、Aコース（オ一年生向）とBコース（オ二年生向）とを別々の冊子とし、先ずそれぞれ「その一」を作成した。「その一」に引続き、近く「その二」を作成配付する。授業日時刻も別途配付するが、その日時刻順序は、必ずしもこのシラバスの記載順序通りとはならない。

## オ一、象徴表現と現代詩（二回）

鍋島能弘

本論は *Problem approach* の方法によっているので、まず象徴の原理を解釈し、その一例を現代詩のうちにみてゆく。

### (I) 象徴について

- (α) 形象、隠喩、直喩、寓意の修辭学的方式と象徴表現の自由
- (β) 象徴の理論

*Cassirer, Urban, Y. W. Tindall* の象徴論の解釈および技法としての詩的象徴。

(II) 象徴からみた現代詩の一例。T. S. Eliot: *The Waste Land* と Wallace Stevens: *Thirteen Ways of Looking at a Blackbird*.

### 参考書目

1. E. Cassirer: *Philosophie der symbolischen Formen* (1923-29)  
その英訳は *The Philosophy of Symbolic Forms, Vol. 1: Language* (1953)  
邦訳としては矢田部達郎訳「カシラー：言語」(培風館)がある。
2. W. M. Urban: *Language and Reality* (1939)  
邦訳としては和田辨訳述「アーバン：言語と現実」(研究社)がある。
3. H. F. Dunbar: *Symbolism in Medieval Thought* (1929) とくにそのオ2章 *Symbolism basic in the Divina Commedia* を参照。
4. W. Y. Tindall: *The Literary Symbol* (1955) この邦訳としては、曾田訳「文学の象徴」(1957. 篠崎書林)がある。
5. 鍋島能弘：ホイトマンの研究 (1959. 篠崎書林) とくに pp. 382-403 を参照。
6. 鍋島能弘：シェリーの象徴について (東京大学出版会。1953. 東京大学教養学部外国文学研究紀要。オ3巻オ2号)
7. C. Feidelson, Jr.: *Symbolism and American Literature* (1953)

オ二 心理学から見た自由と進歩 (一回)

波多野完治

進歩と発達——子どもと大人

自由と統制, 指導, 教育

自律と他律——道徳の進歩

オ三 社会心理学から見た自由と進歩 (一回)

波多野完治

個人心理と社会心理との差

階級社会における自由と進歩

映画を例としての自由と進歩の関連

参考書 (オニ及オ三の)

ピアジェ 「知能の心理学」

波多野完治 「映画の心理学」

オ四 哲学的世界観より見たる自由と進歩 (二回)

藤田健治

1. 人間的自由の概念
  - a. 外面的自由と内面的自由
  - b. 偶有的自由と本質的自由
2. 歴史的進歩の概念
  - a. 個人的進歩と集団的進歩
  - b. 理念と現実
3. 自由と進歩についての本質的考察
  - a. 自由と必然
  - b. 進歩と繰り返し
  - c. 人間的創造と歴史的究極目的

(参考書)

Pico, *Oratis de hominis dignitate* (人間の尊厳について)

Kant, *Kritik der praktischen Vernunft*. (実感理性批判)

Hegel, *Philosophie der Geschichte* (丁史哲学)

Burckhardt, *Weltgeschichtliche Betrachtungen* (世界史的考察)

Nietzsche, *Vom Nutzen und Nachteil der Historie für das Leben*  
(歴史の生に対する利害)

Dilthey, *Der Aufbau der geschichtlichen Welt in den geistes-  
wissenschaften*. (精神科学における丁史的世観の構造)

Jaspers, *Philosophie, Bd. II. Existenzhellung* (実存哲学)

Lowith, *Weltgeschichte und Heilsgeschehen* (世界史の救済)

Pohlenz, *Griechische Freiheit* (ギリシヤ的自由)

Mortimer Adler, *The Idea of Freedom* (自由の概念)

Nicolai Hartmann, *Ethik; (倫理学) Problem des geistigen Seins*  
(精神存在の問題)

和辻哲郎 倫理学, 人格, 人類性

三木 清 丁史哲学

高坂正顕 丁史的世観

藤田健治 近代哲学原理の崩壊と再建, 丁史的世観

才五、芸術の自由について (二回)

谷田 関次

- (1) 芸術の自由と自律
- (2) 芸術観における様式の問題
- (3) 様式概念の基礎をなすもの

参考書

現代芸術の一般的鳥瞰のためには  
*Herbert Read* の *Art Now, The Meaning of Art,*  
*Philosophie of Modern Art* などの諸著や、*Thomas Munro*  
 の *The Arts and their Interrelations* が便利であるが、  
 又展覧会や画集などで現代美術の実際に触れることが望ましい。

才六、現代物質科学の諸問題 (二回)

菅井 準一

- 1. 現代における自然観と方法
- 2. 原子力科学の問題点
- 3. 技術革新の課題

才七、生物学と現代の社会思想 (一回)

八杉 竜一

- 1. “自由”の根原への追求
- 2. “進化”と“進歩”

才八 精神医学の発達と現代の人間観 (一回)

平井信義

1. 精神医学・神聖学・精神病理学・犯罪学・治療教育学の発達と人間の精神構造の新しい認識。

- a. 脳生理学・脳生化学・脳病理組織学の発達と精神の物質論
- b. 脳局在論 (Wernicke) と発達史退行説 (Jackson)
- c. 条件反射論 (Pavlov)
- d. 病因的分類説 (Kraepelin)
- e. 医学的心理学 (Kretschmer)
- f. 精神分析論 (Freud)
- g. 精神生物学 (Meyer)

2. 臨床精神医学の動向

- a. 医学的治療法
- b. 精神的治療法

3. 精神現象の多様性と人間の自由

- a. 精神現象の新しい理解
- b. 人間の自由

4. 問題点として

- a. 神経症 (神聖質論・心気症・不安神聖症・強迫神経症・ヒステリー)
- b. 精神病 (分裂病・そううつ病・てんかん・その他)
- c. 行動異常 (退行症状・攻撃症状・その他精神身体症状)

才九 現代における科学・技術・社会 (一回)

菅井準一

1. 科学と政治

—科学政策の課題—

2. 現代科学における組織と自由

自然科学関係全参考書

James B. Conant, *Modern Science and Modern Man.*  
(1952. 坂面志保訳, 現代科学と現代人, 時事新書)

James B. Conant, *The Citadel of Learning.*  
(1956. 坂面志保訳 学問の砦, 時事新書)

von Weizsäcker, *Atomenergie und Atomzeitalter*  
(1957. 富山, 栗田訳, 原子力と原子時代, 岩波新書)

J. Robert Oppenheimer, *Science and Common Understanding.*  
(1956. 矢島敬二他訳, 科学と人間社会, 新評論社)

Robert Jungk, *Heller als Tausend Sonnen*  
(1957. 菊盛英夫訳, 今の太陽よりむしろ明るく, 文芸春秋新社)

J. Z. Young, *Doubt and Certainty in Science*  
(1951. 岡本彰祐訳, 人間はどこまで機械か, 白揚社)

オパーリン著, 江上不二夫訳, 生命の起源と生化学, 岩波新書,  
末綱毅一編 科学と現代文化 創文社

星野芳郎 技術革新 岩波新書

菅井準一 現代科学史 平凡社

ハ杉藤一 近代進化思想史, 中央公論社

J. G. Crowther, *Social Relations of Science* (1941)

J. D. Bernal, *Freedom of Necessity* (1949)

J. D. Bernal, *Social Functions of Science*

(1939, 坂田・星野・龍岡共訳, 科学の社会的機能, 創元社)

von Weizsäcker, *Zum Weltbild der Physik* (1958)

岩波講座, 現代思想, オ7巻科学と科学者及びオ8巻機械時代

イギリス科学技術序論, 和田弘訳, オートメーション,

紀伊屋書店

リリー著 鎮目恭夫訳, オートメーションと社会の発展

みすず書房

星野芳郎, 技術革新の根本問題, 勁草書房

ショシャル (吉岡修一郎訳) 道徳と生理, 白木社クセジユ

ショシャル (吉倉兼光 訳) 動物の社会・人間の社会, 〃

